

平成26年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
植物共生学	バイオセラピー学専攻 博士後期課程	番	

- 問 1. 生物多様性の概念を説明し、これらの保全が地球環境と人類にとってなぜ必要なのかを述べよ。その際に下記の数値を説明に用いること。(48億、10億、3000万、1000万、140万)
- 問 2. 生物の保全と保護の違いを述べ、様々な自然環境をどのように保全、保護していくことが未来の地球環境維持につながるかを述べよ。
- 問 3. 里地里山とはどのようにして利用維持されてきたか説明しなさい。またなぜこのような環境を保全していくべきなのか述べよ。(解答は用紙裏の利用も可)

平成25年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
人間植物関係学	バイオセラピー学専攻 博士後期課程	番	

事例を挙げつつ癒し植物の種類を述べ、人間との関係の歴史を詳述しなさい。

平成26年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
動物介在療法学	バイオセラピー学専攻 博士後期課程	番	

以下の問題1.～問題3. について、それぞれに回答せよ。

問題1. 介在動物として馬を用いたとき、人に与えられる心理的、精神的効果について整理し、具体例をもって述べよ。

問題2. 介在動物として適した馬の選択について、気質、訓練、品種などの観点から、自身の考えをまとめて記述せよ。

問題3. なぜ、馬は人類と共存し、動物介在療法・活動・教育への応用を可能としてきたのか。他の動物種と比べたときこの馬という動物がもつ優位性、人類への有益性についてその歴史的背景と共に述べよ。

平成27年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
伴侶動物学	バイオセラピー学専攻 博士後期課程	番	

人と伴侶動物の共生にかかわる課題について知るところを挙げ、その課題を解決するために考えうる方策を示し、さらに研究者としてどのような研究を行い、課題解決に貢献すべきか、論述せよ。

平成25年度 第I期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
野生動物学	バイオセラピー学専攻 博士後期課程	番	

1. 絶滅危惧種に対して行うべき保護、保全措置について述べなさい。特に、何故保全が必要なのか人類の立場から言及すること。

平成25年度 第Ⅱ期
大学院入学試験問題用紙

科目名	受験専攻	受験番号	氏名
植物介在療法学	バイオセラピー学専攻 博士後期課程	番	

「植物介在療法とはなにか」、あなたが考える概念を以下に記載しなさい。